



大平地域

地域密着型

サービス施設の紹介

高齢者の介護や福祉の施設はいろいろありますが・・・

「地域密着型サービス施設」とは？

- ・地域住民と交流が持てるような場所にあって、ご利用の方ができるだけ住み慣れた地域で生活ができるように、地域の特性を活かして、地域に添ったサービスを提供しています。
- ・将来的には、地域住民の相談窓口として対応できることを目指しています。

なるほど！
地域に根ざした
施設なんだね！



介護認定を受けた栃木市に住所がある方のみ利用できます。©2014栃木市とち介

大平地域には地域密着型サービス施設が9か所あります。
各施設の情報をご紹介します。 ➡ 内面へ

※くわしい情報を知りたい場合は
各施設に直接お問合せください。

～コロナ禍でも工夫をしながらこんな取り組みをしています～

特別養護老人ホーム

①地域密着型特別養護老人ホーム幸寿苑

連絡先: 43-1400 / 大平町上高島774

入居者10名の1ユニットの事業所です。入居者様が住み慣れた我が家と同じ環境で過ごしていただけるよう、一人一人に寄り添った支援を職員一同勤めております。コロナ禍で、外出や、他者との交流が少なくなっているため施設内で季節の行事を企画して

入居者様が、楽しんで過ごせるように支援しています。今後も安全で安心できる施設を目指していきます。



施設長 森 裕一

②地域密着型特別養護老人ホーム幸寿苑たかしまの郷

連絡先: 45-2002 / 大平町上高島777-2

私達の所では、入居者様のストレスが少しでも軽減できる様な取り組みを行っています。季節感を感じていただくイベントを職員と一緒に室内にて工夫し楽しんでいます。例えば、栃木県郷土料理”しもつかれ”を入居者さん指導の下に一緒に作り、食べました。とても美味しかったと好評でした。また、入居者様の食べたい物のアンケートをもとに店を選び、

出前やテイクアウトし地域の店を盛り上げています。職員は店員に仮装し、楽しめる工夫もしています。また、職員は決まった事を守り、入居者様が安心して生活できる様に全員で継続して取り組んでいます。



施設長 森 裕一

③星風会小規模特別養護老人ホームおおひら

連絡先: 45-2770 / 大平町西水代1930-1

4月から毎月第3週木曜日13:30(変更する場合あり)からオレンジカフェを、ふるさとふれあい館内で再開することになりました。コロナ禍でも継続できるよう感染対策をしながら交流や体操、ミニ講座、趣味活動など、地域の皆さんが気軽に集える場所として活動できたらと思います。

お問い合わせは、上記連絡先まで。皆さんの参加をお待ちしております!

※オレンジカフェは、どなたでも参加できます。



施設長 山口 雅之

通所介護 (デイサービス)

④デイサービスみどりの杜

連絡先: 45-1920 / 大平町下皆川132-3

コロナ禍でもご利用者に安心して楽しんで頂けるように感染対策を行い運営しています。お花見ドライブや行事食の提供、おやつ作りなど、季節を感じてもらえるように心がけています。ご利用者が生き生きと自分らしく過ごせるように柔軟な支援をさせて頂いています。

事前に連絡を頂ければ見学等も可能ですのでご連絡をお待ちしております。



施設長 赤塚 友亮

⑥土与デイサービスセンターなかまの家笑福

連絡先: 25-0780 / 大平町土与123-4

当施設は、リハビリに特化したデイで、午前は集団体操のほか、個別にプログラムされたリハビリを行い、午後は昼食後に30分程度の集団体操と音楽レクリエーションを行っています。コロナ禍の中、買い物外出に代わる試みとして、職員がお菓子や日用品の買い出しを行い販売会を開いています。

「自分が欲しいと思うものを自分で選んで購入する楽しみ」を体感し、明日への活力に繋げています。



管理者 戸田 栄子

⑤療養通所介護ナースホーム琴音

連絡先: 24-7550 / 大平町川連490-4

外出や外食ツアーなどが困難な状況にあるため、☆送迎の時に桜の並木道を通ったり、☆ひな祭りに甘酒を提供したり、☆クリスマスには職員がサンタやトナカイの帽子をかぶって送迎したり、☆遠方に暮らすご家族様にデイ利用中の写真をおくったりなどしています。

☆看護師が多く配置されているので体調の変化にも迅速に対応できます。また、管が入っていたり胃ろうがあっても安心して利用できます。随時ご相談ください。



代表および管理者 前橋 智津子

⑦ハーモネートデイサービス大平

連絡先: 45-2255 / 大平町富田5-230

～お出かけリハビリテーション～

大平町の四季を感じながら、我が家でいつまでも暮らしたいお客様の思いを大切に、外出支援を行っています。コロナ禍により制限もありますが、感染予防対策を行い密を避け短時間でのドライブを行っています。お客様の笑顔は健在です。予防の第一歩、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

- ①身体機能維持向上を目指し、生活リハビリ実施
- ②施設周辺のゴミ拾いをしながら、日光浴お散歩を実施
- ③季節のデザート作り
- ④元氣一杯体を動かし、脳トレを兼ねたゲームを実施



施設長 須藤 明

グループホーム

⑧星風会グループホームこすもすおおひら

連絡先: 45-1610 / 大平町富田5-225

こすもすおおひらでは、9名×2ユニット=18名の入居者様が共同生活をしています。コロナ禍で家族様の面会も制限させていただいている状況なので、通常のお便りのほかに、生活の様子が見えるような写真を同封し、少しでも入居者様の様子をお伝えできるように工夫しています。入居者様は、外出もままならないため、その分季節行事に力を入れています。

初午の日には、入居者様と一緒に「しもつかれ」を作って楽しい一日を過ごすことができました。早く自由な毎日が戻ってくることを、職員一同祈っております。



施設長 石川 敦子

⑨グループホームふじぬま

連絡先: 43-2466 / 大平町富田5212-2

外出がままならない現在、ホーム内で運動したり、少人数で庭を散歩したりしています。ご家族とは、連絡を密に行い、ホームに来所した際には、窓越しでお話していただき、現在の様子を確認していただいています。

- ・ホーム内での運動
リズム体操・足上げ運動・個別に歩行練習・立ち上がり運動を行っています。
- ・季節のおやつ手作り
鏡開きにはお餅をあられに、彼岸にはぼた餅やお団子、雛祭り・5月節句には草餅や柏餅、夏祭りにはお饅頭などを一緒に作っています。



管理者 石橋 幸子

◆地域密着型特別養護老人ホームとは・・・

定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームで、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、健康管理などのサービスが提供されます。新規に入居できるのは、原則要介護3以上です。

◆地域密着型通所介護とは・・・

日中、利用定員18人以下の小規模なデイサービスで、食事や入浴、レクリエーションや機能訓練などのサービスが提供されます。

◆グループホームとは・・・

認知症と診断された方が5～9人で共同生活をおくりながら、日常生活の介護を受けられる施設です。利用者が家事を分担するなどして、リハビリをしながら認知症症状の進行を防ぎ、安心して生活を送れるようにします。要支援1の方はご利用できません。

◎要介護認定の申請

介護保険サービスを利用したい場合、要介護・要支援認定を受けます。訪問調査や主治医の意見書を基に、専門家が審査します(認定審査会)。認定結果によって、利用できるサービスが異なります。詳細は下記へお問合せください。

【申請窓口】

大平地域包括支援センター

☎43-9226

